

元町地区復興まちづくりの検討状況について＜メモリアル公園整備事業＞

(1) これまでの検討経過

年 月		実施事項
平成 26 年	10 月	・公園整備に向けた進め方等の検討 ・公園基本計画の作成に着手
	11 月	・元町地区復興まちづくり計画検討進捗報告会開催（11 月 14 日 公園の検討の進め方等について説明） ・東京都との協議 ・公園区域、公園区域の考え方の検討
	12 月	・公園区域の概ねの範囲の検討・案の作成
平成 27 年	1 月	・神達、丸塚一帯の現況測量（3 月末まで） ・東京都との協議 ・地権者個別ヒアリング実施
	2 月	・島外地権者説明会開催（2 月 8 日 於：島嶼会館） ・環境省との協議
	3 月	・東京都との協議 ・島外地権者説明会開催（3 月 14 日 於：都庁第一庁舎） ・公園区域の原案作成 ・公園基本計画作成
	4 月	・公園基本設計プロポーザル実施
	5 月	・公園基本設計委託業者決定・基本設計着手
	6 月	・東京都都市計画審議会への予定案件事前提案概要提出
	7 月	・第 1 回公園検討ワークショップ開催（7 月 9 日 参加人数 49 人） ・小・中・高校生への公園アンケート実施（8 校 670 人から回答）
	8 月	・第 2 回公園検討ワークショップ開催（8 月 5 日 参加人数 30 人） ・東京都都市計画審議会への予定案件提出
	9 月	・第 3 回公園検討ワークショップ開催（9 月 10 日 参加人数 26 人）

（２）メモリアル公園検討分科会の結果報告

大島町メモリアル公園の整備に向けて、広く町民の意見や考えをいただき、公園の計画の参考にすることを目的とした「大島町メモリアル公園検討分科会」を設置しました。

7月から9月までの間に計3回開催し、町民の方から様々なご意見をいただきました。

◆検討分科会のテーマ

検討分科会	テーマ
第1回 7月9日 (49名)	①災害の記憶・大島町の魅力など「復興」「振興」に関すること （島全体） ②メモリアル公園としてどのような公園がよいか ③どんな風に公園を使いたいのか
第2回 8月5日 (30名)	①プランへの意見 ②管理運営についての意見 ③その他（公園の名前など）
第3回 9月10日 (26名)	公園敷地内の各区域について ①鎮魂・祈りの場 ②多目的広場・遊びの場 ③交流の場

◆第1回 検討分科会 検討項目及び主なご意見

項目	主なご意見
公園のイメージ	・祈りと復興のシンボル公園 ・花や植物などの自然を楽しめる公園 ・島外から観光客が訪れる公園、みんなが集まる公園 ・子どもから大人まで、特に若者が楽しめる公園 など
災害の記憶、メモリアル	・被災場所の保存、展示施設、資料館など災害を伝える施設 ・献花台、慰霊碑、モニュメント ・語り部、語り継ぎツアー など
遊びやスポーツ、レクリエーション	・子どもたちが遊べるスペース ・若者に人気のスポーツ施設 ・ジョギングコース ・自転車道、散策路 など
みんなが集まる場所、にぎわいの場所	・野外ステージ、イベント施設 ・ビジターセンター、カフェ、売店 など
大島らしい花や樹木	・大島らしいサクラやツバキの植栽、季節の花 ・森林浴のできる緑、芝生 など
その他	・アクセスバスの運行 ・雇用の場の確保、ボランティアの場 など

◆第2回 検討分科会 検討項目及び主なご意見

項目	主なご意見
追悼・鎮魂の場としての公園について	・被災された方の気持ちを大切にしたい ・災害をどう伝えていくのかが重要 ・若者が使う公園にすることで、いつまでも災害を忘れない、ここで思い出すことができる
地域の復興につながる公園について	・多くの人に来てもらい、島の活性化につながる公園に
整備の内容について	・若者が集うスポーツ広場を使いやすい場所に、広く ・大島らしい花（ツバキなど）で島の見どころに ・駐車場、トイレ、照明、ベンチ、園路を使いやすく
公園の使い方について	・維持管理費がかかるので、いろんな人が協力できる体制を ・語り継ぎガイドなどの防災教育、イベントの実施などソフトの仕組みが必要
公園の名前について	・インターネット等を利用して広く公園名を募集してはどうか ・暗い名前にしたくない

◆第3回 検討分科会 検討項目及び主なご意見

	項目	主なご意見
鎮魂・祈りの場	祈りの広場	・慰霊祭等ができるよう、もう少し広くして欲しい ・献花台や慰霊碑が欲しい ・慰霊祭等のイベントを行っている際、急な雨をしのげる場所が欲しい ・モニュメントはデザインを公募して、大島らしい公園のシンボルにしたい ・モニュメントは大きすぎないものがよい ・見晴らしが良い場所で海を見ながら祈る場にしたい ・物が少ないシンプルな場所にしたい
	伝承の路	・被災者の方の気持ちを中心に考えて、被災したことを忘れないための「しるし」（慰霊碑等）を検討して欲しい
	メモリアルプロムナード	・解説板等を設置して欲しい ・祈りの広場との役割分担を考えるべき ・プロムナードが広場を分断している
	樹林の路	・ツバキやオオシマザクラ等大島らしい植栽がよい
多目的広場・遊びの場	多目的広場	・スケートボードやボルダリングができる施設が欲しい ・多目的広場から祈りの広場への見通しをよくして、モニュメントが見えるようにして欲しい
	遊びのエリア	・島内の子どもだけでなく、島外の子どもも大人も高齢者もいっしょに楽しめる場所にして欲しい ・遊んでいる子どもを、大人が見守るベンチ等も欲しい ・斜面を利用した遊びや長いすべり台等、話題になるような楽しい遊具がよい
	ジョギングコース	・街からの健康エクササイズコース、献花台往復コース等徒歩で楽しく公園に来る仕掛けがあるとよい
交流の場	サクラ広場	・大島には意外とお花見ができる場所がないので、広場を広くしてお花見ができる場所にしたい ・オオシマザクラ以外にも開花時期が異なるいろいろな品種のサクラを植えて長くお花見を楽しみたい ・サクラは花の時期が短く管理が大変なので、ツバキ等の植栽もしてはどうか
	交流広場	・イベントのできる施設整備が必要（屋根付きステージ、テント、水道、コンセント、太陽光発電、舗装した広場等）
その他	維持管理	・公園が完成した後、きれいに管理できるかが心配 ・草花や芝生が多いと管理が大変 ・樹木や舗装等手間のかからない工夫が必要 ・芝生を減らし管理費を削減したい
	みんなでつくり続ける	・慰霊の小さなモニュメントを毎年増やしていったらどうか ・植樹イベントを開催し、みんなで植樹を続けながら公園を完成させていく ・花づくり等みんなが集まる機会があるとよい ・少しずつ遊具を増やしていったら公園をつくっていくのもよい ・みんなでターザンロープやツリーハウス等の遊具を作りたい ・スケボーパークは小さな規模から、少しずつ広げていったらよい
	みんなが集まる公園にする	・常に公園に人がいて集まれる場所があるとよい ・気軽に立ち寄れるカフェ、観光案内、飲食等のサービスが必要 ・繁忙期だけでも、移動販売車等で飲食店の営業をしてはどうか ・経営者の募集や日替わりのお店番等運営面の工夫で飲食店を実現できないか

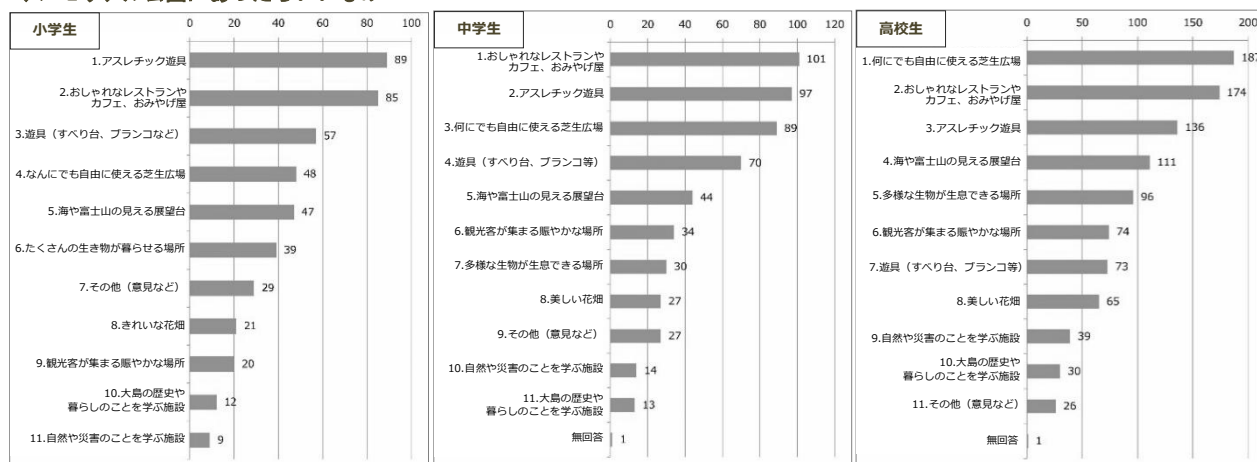
◆第3回 検討分科会時点 “これまでのメモリアル公園検討分科会でのご意見をまとめた計画案”



(3) 小・中・高校生への公園アンケート結果報告

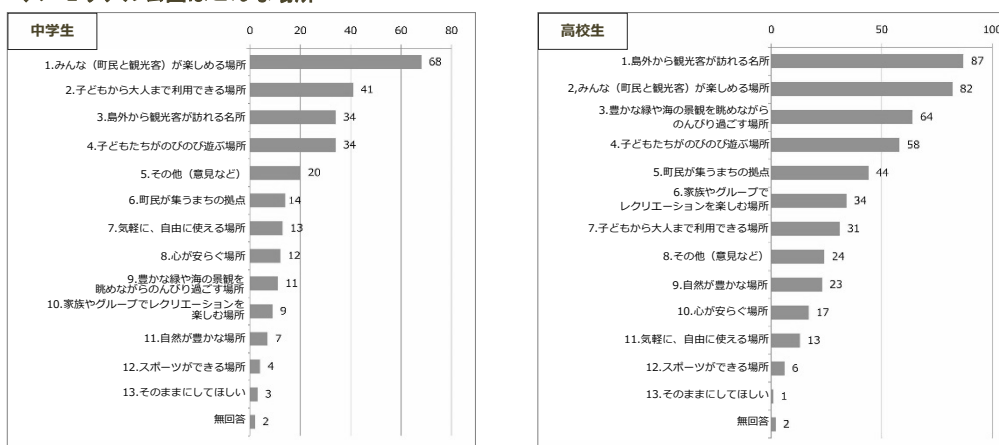
平成27年度7月に、島内の学校を対象に“メモリアル公園に関するアンケート調査”を実施しました。調査結果はグラフにし、公園計画の参考にしました。(小学生は4・5・6年生を対象)

◆メモリアル公園にあったらいいもの



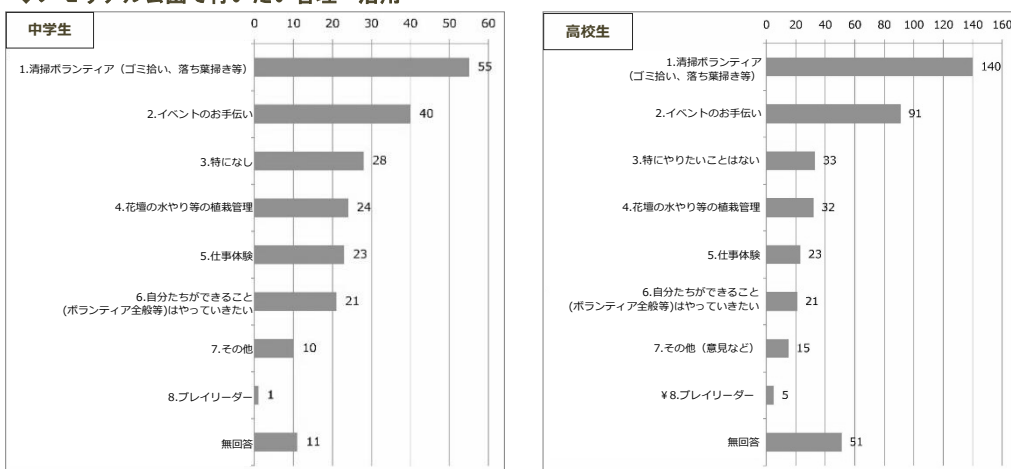
「メモリアル公園にあったらいいもの」として、小学生はアスレチック遊具、中学生はオシャレなレストランやカフェ、お土産物屋、高校生はなんにでも使える芝生広場というご意見が多くありました。

◆メモリアル公園はこんな場所



「メモリアル公園をどのような場所にしたいか」という質問に対しては、町民も観光客もが楽しめる施設、島外から観光客が訪れる名所、子どもたちがのびのび遊ぶ場所というご意見が多くありました。

◆メモリアル公園で行いたい管理・活用



「メモリアル公園で行いたい管理・活用」については、中学生、高校生ともに清掃ボランティア(ゴミ拾い、落ち葉掃き等)、イベントのお手伝いというご意見が多くありました。

(4) メモリアル公園事業計画

実施時期		実施事項
平成 27 年度	10 月	第 3 回 検討分科会の結果を基に計画案の細部検討 (園路・施設・植栽・照明等)
	11 月	第 4 回 検討分科会 (計画案の確認、公園の使い方や管理についての検討)
	12 月 ～	第 4 回 検討分科会の結果を基に計画案の修正 各種施設の概略構造の検討 (基本設計)
	3 月	都市計画決定 (予定)
平成 28 年度		メモリアル公園実施設計 事業認可・用地取得
平成 29 年度		用地取得・整備着手
平成 30 年度 ～		整備
平成 32 年度		
平成 33 年度		開園 (予定)